

事務事業名	土地区画整理法第76条許可事務				担当	建設部 区画整理課 管理係/長田指導係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	6	安全で快適な住まい・まちづくり			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成12年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	土地区画整理法							
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	4都市計画費	2土地区画整理				
事業概要	土地区画整理事業施行地内において、建物等の新築や改築を行う場合、土地区画整理法第76条の規定による許可事務。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 ・申請受付 審査 許可  30年度計画 ・申請受付 審査 許可	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア：受付件数	件	139	120	103	123	70
	イ						
	ウ						
	エ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・土地区画整理事業施行地内で建築行為等を行う者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア：申請件数	件	139	120	103	123	70
	イ						
	ウ						
	エ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 土地区画整理事業施行地内の建築行為等の確認	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア：許可件数	件	139	120	103	123	70
	イ						
	ウ						
	エ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・良好な住宅環境が保たれ、安全で快適な住まい・まちづくりが推進される。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア：良好な市街地形成に対する市民の満足割合	%	83.0	80.7	79.1	83.8	84.0
	イ：市街化区域の整備率（工業団地含む）	%	74.5	74.8	74.8	75.2	75.6
	ウ						
	エ						

(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	55	55	55	55
		人件費計(B)	千円	232	230	228	228
トータルコスト(A)+(B)		千円	232	230	228	228	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・土地区画整理法に基づく許可事務。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・土地区画整理事業の進捗により、申請件数に変動がある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	